



# 森下さち子 ニュース

【2010年3月号】和歌山市鳴神 1145 - 6 Tel. 474-6556  
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> Tel. 435-1113

## 2月議会 中間報告

### 議会での代表質問・一般質問に

### 精いっぱいとりくんでいきます！

#### 2月議会では 予算審議を中心に

2月23日に始まった議会は、2009年度の最終補正予算と2010年度の当初予算の審議を行います。国の2次補正予算に関わる、緊急雇用対策や地域活性化臨時交付金を使った事業がたくさん上程されてきました。その中には地域の住民のみなさんとともに取り組んだ要求がいくつも反映されています。

例えば、学童保育における待機児童を解消するためのプレハブが2カ所設置されることになりました。そして、開設時間も2010年度中に午後6時までには拡充される計画です。

また、国保料金の減免制度の拡充と特定検診の自己負担(2000円)を無料にするなどです。いずれも市民の取り組みと共産党市議団の質問とが相まって反映された

ものです。今後も粘り強く取り組むことで、くらしや福祉、教育などに関わる要求を前へ進めていきます。2月議会は3月19日に討論・採決を行い終了する予定です。

#### 森下さち子の一般質問は「給食問題」

12月議会に続いて、小学校給食の民間委託について質しました。

三寒四温の今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

この号がお手元に届くころには、2月議会が終了していると思います。そして、桜前線の行方が気になりはじめる頃ですね。我が家のご近所ではこぶしの花とともにさくらんぼの花も満開となりつつあります。そして沈丁花の香りも漂っています。

この3月号は議会の中間報告としてお届けします。議会の内容はもちろんのこと、市政へのご意見や生活に関わる相談などお気軽にお寄せ下さい。

- ① 今回は民間委託計画の22校のうち、まだ17校についてはどこへ実施するのか、具体的な小学校名を明らかにしていません。それを明らかにすることと同時に保護者や地域の関係者に説明し、子供たちへの学校給食がどうあるべきかを議論する必要があります。このことを指摘しました。
- ② 現在4箇所ですで行

## 日本共産党演説会

4月4日(日) 14:00より  
市民会館

うららかな春は  
きびしい冬のとから来る  
可愛い落のとうは  
霜の下で用意された

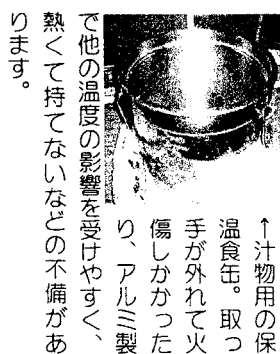


これはかつて宮本百合子がよく色紙に記した文書です。政治を前に進め、「うららかな春」を迎えられるかどうかは国民の世論と日本共産党の奮闘にかかっています。ご一緒に力を合わせてがんばりましょう。

日本共産党中央委員会書記局長 参議院議員  
市田忠義

われている民間委託による給食を第三者委員会などの設置で検証することを求めました。

③ 給食を作る際の器具や施設の老朽化が問題となつていますが、財政難を理由に買い替えが進んでいません。教育委員会は「安心・安全の給食を提供する」と言いますが、器具や施設が古く



↑汁物用の保温食缶。取っ手が外れて火傷しかかったり、アルミ製で他の温度の影響を受けやすく、熱くて持てないなどの不備があります。

も器具や施設には配慮するべきで、調査の上1〜2カ年計画で買い替えなどを進めると答えました。

ては危険性や衛生上の問題です。すべての学校と調理場の総点検と調査を実施し、計画的に買い替えや修繕を

※給食問題関連記事は裏面につづく

# 「給食問題」

## 請願「民間委託の4月実施を見送って下さい」の提出

「雑賀小学校、高松小学校、小倉小学校における給食調理業務等の民間委託計画は4月実施を見送って下さい」という請願が『和歌山市の学校給食を考える会』より提出されました。

### 請願の理由

①9月議会と12月議会で民間委託に関わる説明が変

わったこと。

②偽装請負という実態があったにもかかわらず、それを知らされることなく提出議案が可決されたこと。

①小倉小学校をはじめ各実施予定校で、教育委員会が主体的に説明責任を果たしたとは言えないこと。

\* \* \*

共産党市議団は請願の紹介議員として奮闘しました。

本会議、常任委員会を通じて傍聴にお越しくくださった

みなさん、本当にありがとうございました。



学校給食の「入札談合疑惑」問題を日本共産党和歌山市議団の森下さち子市議と大舛主馬市議が5日の本会議で質しました。(写真は、森下さち子市議の質問を傍聴する市民)

# こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



新年度を迎えようとしていますが、雇用や収入の低迷が続き、県民の暮らし向きはいっこうに改善のきざしが見えてきません。

国の生活・経済対策が一昨年の12月からはじめられ、県には907億円のお金がきました。失業している人の働く場づくり、学校・道路・橋・堤防の改修などにあって、現在も事業が続けられていますが、2011年度までに使うこととなっています。より多くの雇用を生み出し、より多くの中小零細事業者の仕事がゆきわたるような使い方が求められています。しかし、雇用創出のための事業数、雇用者数とも昨年12月では全国最下位、県内業者でも作れる書架を県外大手業者しか製造できないものに設計するなど問題点が明らかになってきました。

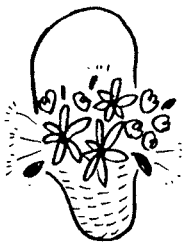
そこで、2月議会で仁坂知事に雇用創出の目標をもつことや県内業者でできる仕事は県内業者に発注するよう求めました。知事は「がんばりたい」と答えましたが、しっかり監視を続け、県民の暮らしを守る県政となるよう、私もがんばらねばと決意をあらたにしました。

県会議員 ふじい健太郎

## スカイタウンつつじヶ丘を救済？29億円 でテニスコートを整備

土地造成事業特別会計Ⅱスカイタウンつつじヶ丘は予定通り住宅地が売却できず、多額の赤字を抱えています。売却価格を下げていかなければならず、その赤字分は毎年税金を投入することで体面を保っているのが実情です。

しかし、漫然と赤字分を一般会計から繰り入れることでは説明がつかず、すでに市が造成した道路をわざわざまた市が購入すると言わねばならない形を取っています。さらに今年には教育委員会が、救済策として2015年に開催予定の国体のためだという理由をつけ、スポーツ振興の名で20面のテニスコートを作ることにしました。財政がきびしいと言いつつ、一方ではこんなからくりがあることは市民生活を支えるという本来の目的から外れているのではないのでしょうか。



## おつきく なあれ

孫下ちんちの元おん成日記

現在17才の元哉。4月からは高校3年生になりますが、この1年間は、思春期まっ只中でした。これまで思春期特有の「荒れ」のようなものは、これといってなく、このまま行くのかな？と半ば安心していたというか油断していたというか、遅ればせながら来るべきものが来た！という感じです。男の子を育てた経験のある先輩母さんに聞いてみると「そういうえば、色々あったのは高校2年生の時だったかも」と言われました。たいていの子が通る道と、思いつつ、一方では悪い想像ばかりが頭をよめます。しかし、ただ見守るしかありません。自分自身を振り返ってみても、思いあたる節があり、たくさんさんの迷いやイライラを抱えていました。保育士時代に学んだ「子どもの成長途はジグザグで、行きつ戻りつしながら力を蓄えて階段を登る」とこの言葉をかみしめながら、未熟な私もまた息子と共に「母」「思春期」という、それぞれの階段を登ろうと思えます。